

Insight ▶ Excite

不易 流行 通信

Newsletter
for Brand and Branding

©Brandlogistics Co.Ltd

Sep.,2006 No.29

インサイトをエキサイト!!

ブランドロジスティクス有限会社

WWW.brand-ing.jp

今月は「大ドイッチェランド」特集です！



毎年、恒例となりましたブランドロジスティクス海外取材。

今年はワールドカップでも話題になったドイツ。ドイツはデザインの国と言われていますが、果たしてその実態はいかかなものか……。

ロンドン、ニューヨーク、上海と世界のロゴを収集してきた好評企画“Logo the World”、今回は堂々のドイツ編です。

古い中世からの文化と、新しいラテンヨーロッパとの出会い。もちろん、ゲルマン=アングロサクソン文化もドイツのロゴには表れています。

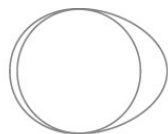
ワールドカップの喧噪に負けずに、行った取材の結果をぜひお楽しみください。

LOGO THE WORLD IN ROTHENBURG

ロマンチック街道と古城街道の交差点に位置するドイツ有数の観光都市、ローテンブルク。中世のデザインフォーマットを現代に生かす「看板」アートの世界をお楽しみください。

Logo the World in Deutschland

ロゴ・ザ・ワールドも4カ国目に突入。ドイツのロゴにはどのような影響が見られるのか。百数十点の撮影写真から選りすぐったドイツの最新ロゴをお楽しみください。



Brandlogistics Co.Ltd.
インサイトをエキサイト!!

2006年9月 本誌記載の記事は“無断転載”“無断複製”を禁じます。配布を希望される方は下記までご連絡ください。また、本誌に掲載されている各社の社名、商品名、サービス名、ロゴ、シンボル等は各社の商標または登録商標です。

発行所◆ブランドロジスティクス有限会社

発行人◆小出正三

ご意見、ご感想、お問い合わせは、hello@brand-ing.jp

〒248-0013 鎌倉市材木座5-8-39 tel:0467-60-6312 fax:0467-60-6313

LOGO THE WORLD IN ROTHENBURG

中世都市に見る「デザインアイデンティティ」

ローテンブルク (Rothenburg) はドイツ南部のバイエルン州中部フランケン県のアンスバッハ郡にある街。ロマンティック街道と古城街道とが交差する位置にあり、日本人の人気も高いドイツ観光を代表する街です。周囲を全長3.5kmの城壁に囲まれており、その城壁に囲まれた市内は、中世の自由都市の街並みを残しています。

しかしこのローテンブルクは第二次大戦時に、町の40%が消失するという不幸に見舞われました。つまり、この街並みは戦後の努力によって復興した姿なのです。

その中で、大きな働きを示したのが、デザインについてのアイデンティティづくり。そこにかける意識の高さです。街が持つフォーマットを守りながら、その範囲で個性を発揮するという意識。看板にそれが表れています。日本の観光地に立つバラバラで醜い看板類を見ると、彼我の差に改めて驚かされてしまいます。

今回は、そのローテンブルクの「看板」を大特集。これだけまとめた数は珍しいと思います。あなたにはどれが伝統的な看板で、どれが新しく造られたモノか見分けが付きませんか？



001



002



003

- 001 * ベーカリー
- 002 * レストラン
- 004 * カフェ
- 006 * クリーニング
- 007 * 観光気球



004



005

- 003 * レストラン
- 005 * ヘアサロン
- 008 * ホテル



006



007



008



009



010



011

009* ホテル
010* 郵便局
012* 陶器店



012



013

011* ベーカリー
ブレッテルが
ベーカリーのモチーフ
013* 不動産



014



015



016

014* 模型店
015* 花屋
017* 本屋



017



018

016* 土産物屋
018* ホテル



019



020



021

019* カフェ
020* 保険会社
022* カフェ



022



023

021* 靴屋
023* 小間物屋



024



025



026

024* アイスクリーム
027* 民宿



027



028

025* ミシン販売
026* カフェ
028* スーパー
マーケット



029



030

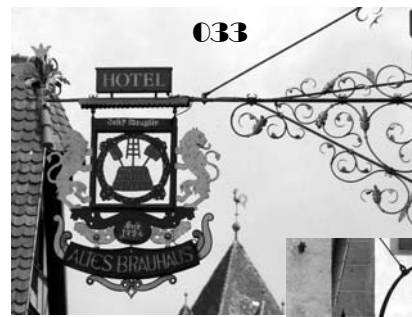


031

029* ファーストフード
030* テディベア販売
032* ヘアサロン



032

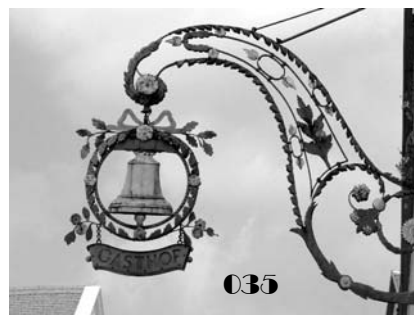


033

031* 旅行会社
033* ホテル



034



035



036

034* ワイン店
037* ワイン店



037


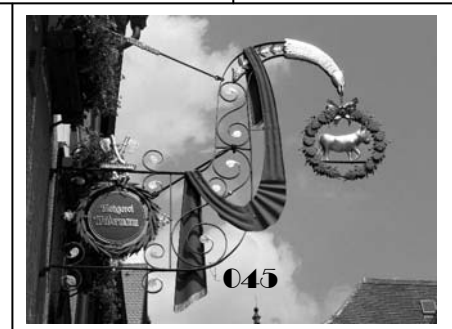



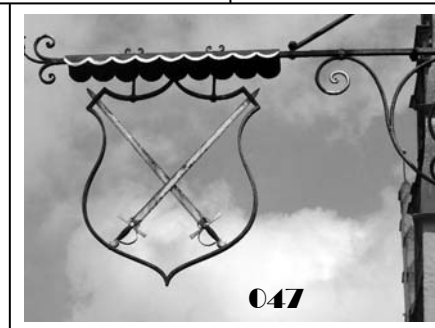

038


035* レストラン
036* ベーカリー
038* ホテル

| | | | |
|------------------------------|---|--|--|
| <p>039*ギャラリー 041*陶器店</p> |  |  | <p>040*ホテル 042*ベーカリー 043*ホテル</p> |
|------------------------------|---|--|--|

| | | |
|--|--|---|
|  |  |  |
|--|--|---|

| | | | |
|--|--|---|---------------------------|
| <p>044*刃物 046*レストラン 047*中世骨董</p> |  |  | <p>045*肉屋 048*カフェ</p> |
|--|--|---|---------------------------|

| | | |
|--|--|---|
|  |  |  |
|--|--|---|

| | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| <p>049*レストラン 051*ドラッグストア 蛇がモチーフ</p> |  |  | <p>050*ホテル 052*ホテル 053*パブ</p> |
|---|---|--|---------------------------------------|

| | | |
|--|--|---|
|  |  |  |
|--|--|---|



054



055



056

054* 土産物店
057* カフェ



057



058

055* ミュージアム
056* ワークショップ
058* ホテル



059



060



061

059* アート&クラフト
060* ベーカリー
062* ホテル



062



063

061* 土産物店
063* 眼鏡店



064



065



066

064* 銀行
067* 土産物店



067



068



065* ベーカリー
066* D Y I
068* ホテル

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>069 * 日本人向け 土産物店 071 * 保険会社</p> |  <p>069</p> |  <p>070</p> | <p>070 * ギャラリー 072 * ワイン・ギフト 073 * ホテル</p> |
|--|--|---|--|

| | | |
|--|--|--|
| <p>071</p>  | <p>072</p>  | <p>073</p>  |
|--|--|--|

| | | | |
|--|---|--|----------------------------------|
| <p>074 * レストラン 076 * ヘアサロン 077 * 骨董品</p> |  <p>074</p> |  <p>075</p> | <p>075 * 鞆店 078 * ミュージアム</p> |
|--|---|--|----------------------------------|

| | | |
|--|--|--|
|  <p>076</p> |  <p>077</p> | <p>078</p>  |
|--|--|--|

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| <p>079 * 食料品</p> |  <p>079</p> |  <p>080</p> | <p>080 * ドイツ鉄道 だと思えますが 市電という可能背も あります。</p> |
|------------------|--|---|--|

翻って日本のサインは・・・

日本の「サイン」類は、大きく2つに分かれます。一つは「行政団体発」サイン、そしてもう一つは「私企業発」サイン。

公共団体は、全国一律に近い発想が多く、ようやく最近になって地域の個性を出そうという傾向が見えてきたようです。以前、ご紹介した「福岡市交通局」が採用した各駅のピクトグラムがそうです。
<http://subway.city.fukuoka.jp/index.html>

まだ、ほとんどの「行政団体発」サインは「地域の顔」としての役割を果たしておりませんが、その解決方向だけは、臆気にも、見えてきているのではないかと、思います。しかし、問題は「私企業発」。

経済活動の自由の影で、部分最適化が全体の最適化を損なっているのでは・・・特に観光地と市街地という両極において街全体の美しさを乱しているのでは・・・美しさの無い街は、何も生み出しません。

今回、ローテンブルクを紹介したのは、「官」的な方法論と「民」的な方法論の間に「公共」的な方法論があるのではと思ったから。あるフォーマットの元に、全員が自分の財(それが民的方法)を投資し、全体の街の価値をあげることで、その見返り(集客力、魅力)を得るという方法。その具体的な実践がこの街にはあります。ぜひ、この街の「公共」を見てもらいたいものです。

Logo the World in Deutschland

“Logo the World”、4番目の訪問地はドイツ。今までのロンドン、ニューヨーク、そして上海への訪問で
 ①「象形」型のロゴが増えていること。②それは多言語化への対応と、③理性から感情伝達への流れ、
 であることを分析してきました。では、ドイツのロゴはこの流れに乗っているのか?それとも・・・
 “Logo the World in Deutschland” ドイツらしいロゴづくりを探る旅を始めましょう。

ドイツ的な・・・極めてドイツ的な・・・

ドイツのロゴの基本。太めのサンセリフ(ハネのない書体)でカッコリつくるのがドイツ流。



あるいは中世風(強調されたローマン体など)が多く見られる。

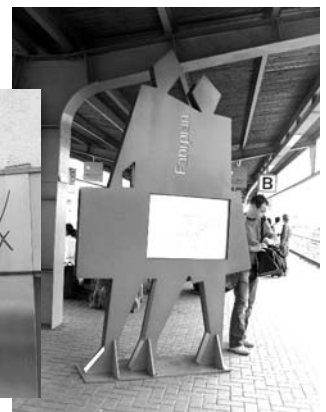


中世風デザインを現代的(EU風)に解釈したモノ。こういうオシャレな感覚のモノが少ない。



写真の数は少ないものの、それはデザインとして見るべきモノが少なかったから。
 実際は、ドイツの半分近いロゴが上のタイプに属しています。その分、街の雰囲気「重く」、内向的に思えてしまいます。

以下は、バウハウスなど近代ドイツを感じさせるデザイン群。
 後に見る「EU風」に比べると、なんとなく洗練度が低い。その中で、ドイツ鉄道の「時刻表」(一番右)は秀逸。



ゲルマン=アングロ・サクソン正統派

ニューヨークのミッドタウン(ああ、ニューヨーク編では、ずいぶんボロボロに言っていました)か、と思うほど似通ったロゴデザイン。ここでも「言語的なもの」が主体を占めており、象形的要素も、言語の補助線程度でしかありません。



かなりグラフィックの要素が強いもの。その形状は「象形」というよりも、具象、抽象、いずれであっても概念的であるのが特徴です。



あまりにアメリカ的なニワトリ……

もっとも現代的な3つ。フォントを軸にしたモノの中では、このページ左上の「Ortloff」とこの3つが一番しゃれていました。(あとはNIKEですね)



EU派(ただし、北欧系が多い)

「ヨーロッパ」という言葉では表現しきれない。まさに「EU派」と呼ぶのがふさわしいグループ。ロンドンで主流をなしていた新しいロゴの流れです。ただし・・・という但し書きがドイツの場合には入ります。ロンドンでは「ラテン・ヨーロッパ」の影響を受けながら、「非左脳の(非言語的)＝感情伝達的」な方向を指向し始めます。それに対して、ドイツではラテンに比べると「意味性・言語性」の強い北欧型の流れのロゴが多いのです。これは、ドイツのEU世界での位置が、北・東欧の窓となっているからでしょうか？(ほとんどの収集は南ドイツだったにもかかわらず、です。)



ドイツでは数少ない、ラテン・ヨーロッパのタッチを持ったロゴ。これしか撮影できた数がないことがその少なさを示しています。



オリエンタル(東～東南アジア)流

皆さん、ご存じでしょうか?タイ等の東南アジアには、サムイ島などのドイツ人が開発したリゾートが多いのです。そういう訳でもないでしょうが、ロンドンやニューヨークで見たオリエンタル流は「日本」的なるものを中核に、「中国」を加えたものが多い。それに対して、ドイツでは日本色が薄れ、かわりに東南アジア色が出てきます。このあたりがドイツの特徴なのかも知れません。

オリエンタル流「書」派



↑一番最後は、ドイツではなくスペインです。でもあまりに素敵なので採り上げました。

オリエンタル流「ベタ」派



↑まあ、この3つはお遊びです。(特に一番上は!)

オリエンタル流「型」派



↑このデザイン。上海で沢山見ました。出稼ぎに来ているのか?

ドイツ: ロゴ収集のこぼれ話

ドイツに入学して最初に入った都市は「フランクフルト」。ドイツでも有数の大都市であり、金融の中心地であることからEUとのつながりが深いと呼ばれる都市。中世的な固有の伝統と、新しいEUの風が如何に結びつきが何を見せるか?! ...と期待して入りましたが、これが大外れ。丸一日歩き回って撮影できたロゴは5つだけ。(しかも、最終的に全ボツ) 結局、ケルンという中規模の都市を歩いて、ようやく思うようなロゴ収集が出来ました。ロゴの世界の変化の早さは「停滞は退歩だ」ということをはっきりと示しています。ニューヨークのミッドタウンで感じた失望はドイツにもあったのです。

コイデショウゾウの「こんなんでましたけど」

何でもテーマパークになる (本人のアイデア次第で)

今回、「Logo the World」崩壊の危機を救ってくれたケルン。そのケルンには、もう一つ、隠れた名所がありました。

それが、これ！

地下1階、地上3階の巨大スポーツショップ。しかし、ただのスポーツショップではない。右側の写真は数々の「試してガッテン」エリア。購入商品を、試して、試して、試して、試して納得するまで試して、買える！！だけでなく、この施設を利用して、未経験者に「楽しみ」を教えあげ、趣味づくりを手伝ってあげる二重の意味での「試してガッテン」エリア！！

これは比較的「広い土地」が確保でき、一步郊外に出ればアウトドアスポーツと親しみやすい、ローカルエリアではそのまま真似ることが出来る素晴らしいアイデアの施設なのではないでしょうか？

それまで、かなりドイツに「ガッカリ」来ていたコイデでしたがこのスポーツ店を見て、「さすがドイツ」とうなってしまうました。

ロックウォールでグラブチェック



水温室で断熱チェック



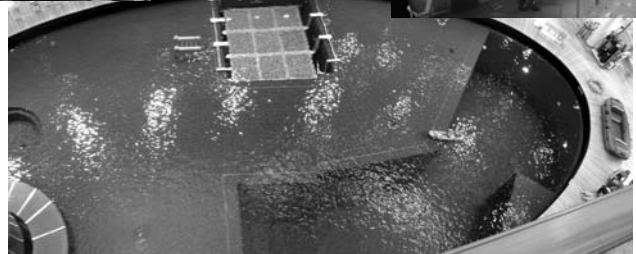
ダミーの岩場で登山靴チェック



巨大シャワーで耐水チェック



一部分は深さ5m。
カヌーの試乗や、
スキューバのテストに
大活躍の地下プール



LOGO THE WORLD IN ROTHENBURG

Logo the World in Deutschland をカラー写真で見ませんか？

<http://brandlogistics.seesaa.net/> に今すぐ、アクセス！

- ◇“Logo the World in Rothenburg” (中世風の看板特集)を見るには
右上にある ●カテゴリーの中の **Logo in Rothenburg**をクリックしてください。
- ◇“Logo the World in Deutschland” (現代ドイツのロゴ特集)を見るには
右上にある ●カテゴリーの中の **Logo in Deutschland**をクリックしてください。

本文中でも登場したLogo the World「ロンドン編」、「NY編」、「上海編」 の3つを1セットにして、無料で差し上げます。

ご希望の方はメールでお申し込みください。バックナンバーをプレゼントします。
アドレスは"hello@brand-ing.jp"
件名は Logo the World 希望
本文には お名前、ご住所、電話番号 をお書きください
(いずれもメール便送付に必要です)

次号予告 次号の不易流行通信は「かしこ」の特集です。ご期待ください。